

「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」及び
「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」について

- 放課後等デイサービスガイドライン（以下「ガイドライン」）は、放課後等デイサービス事業所における自己評価に活用されることを想定して作成されたものですが、各事業所で簡易に自己評価を行うことができるよう、ガイドラインの内容を踏まえた「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を作成しました。ただし、この自己評価表を活用してより適切に自己評価を行うために、事業所関係者に対しては、ガイドライン本文を熟読することをお勧めします。
- さらに、放課後等デイサービスを利用する子どもの保護者等による、ユーザー評価に活用していただくために、より一層簡素な「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」も併せて作成しました。
- 上記の2つの評価表はあくまで「雛型」であり、事業所等でこれに適宜加除修正を行って活用していただくことも可能ですし、どのような形で活用するかも自由ですが、2つの評価表の基本的な活用方法としては、以下の手順を想定しています。

ステップ1

保護者などによる評価

- 事業所から保護者等に対して、「保護者等向け評価表」を配布してアンケート調査を行う。保護者等からの回答は集計し、特記事項欄の記述を含めてとりまとめる。

ステップ2

職員による自己評価

- 事業所の職員が「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を用いて自己評価を行う。その際、「はい」「いいえ」などにチェックするだけでなく、各項目について課題は何か」「工夫している点は何か」について記入する。

ステップ3

事業所全体による自己評価

- 職員から回収した評価表を集計の上、職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について、認識をすり合わせる。
- 職員間で認識が共有された課題については、改善目標を立てる。討議の結果は書面に記録し、職員間で共有する。
- 討議に際しては、保護者等に対するアンケート調査結果も十分に踏まえ、支援の提供者の認識と保護者等の認識のずれを客観的に分析する。

ステップ4

自己評価結果の公表

- 自己評価結果の公表の仕方については、基本的には「改善目標」や「工夫している点」の主なものについて、できるだけ詳細に発信する（「はい」「いいえ」の数の公表を想定しているものではない）。
- 保護者等のアンケート調査結果は、保護者等にフィードバックする（対外的に公表することまでは前提としない）。

ステップ5

支援の改善

- 立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

- 業務改善に真摯に取り組む事業所ほど、公表される自己評価結果には、改善目標に関する記述が多くなされるものと想定しています。
- また、（地域自立支援）協議会や事業者団体において、これら評価表を使った自己評価結果の事例発表を行う機会を設けるなどにより、自己評価の取組が広がっていくことを期待しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			訓練スペースは、個別の部屋も準備している
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			児発管 1 名、児童指導員 2 名、保育士 1 名で支援を行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			建物内は、すべてバリアフリーであり、車椅子用のトイレも完備している
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			全職員で取り組んでいる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年実施し、保護者の意思等十分に検討し、業務改善に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			毎月のお便りにて、別紙で報告している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者評価は未実施。 今後受けなければならない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			今年度はウェブでの開催での研修に参加
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			相談支援専門員の計画に沿って、子供と保護者のニーズや課題に沿った個別支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			全員で話し合い、立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			一人一人の発達に応じた内容の療育を日々行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇でしか出来ない事（家事の課題）等、その時に応じて設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			ワークは個別療育を基本とする。その後戶外遊び時は集団とする。コミュニケーションを中心とする子は、関わりの中で学ばせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			午前中ミーティングし、午後からの先生が来たら、再度同じ内容を伝えている。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			保護者との会話の内容なども、職員間で話し共有している。その場で忘れない様に話又は記載している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育内容だけでなく、清潔面での配慮や援助、家庭での様子も記載している。家庭の様子で、子どものつづやきも重視し記入。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			相談支援員と保護者のモニタリングに同席している。相談員が来園しない場合も行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			可能な限り、複数で参加している。児発管だけでなく児童指導員、保育士も参加し、現場の声を伝えている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			急な予定変更時は、学校から連絡もいただき、きちんと共有出来る様にしている 学校の先生とも、良好な関係を築いている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもが、現在来ていない（泗水町には、専門の放デイ有）
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			本体が保育園の為、気になる子などは午前中の時間に訪問し、情報を共有している。 又、話し合いにも参加している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援員にも情報を伝え、漏れが無い様にしている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ウェブにて受講、又は支援センターに相談や助言を受けながら進めている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			本体保育園の学童保育の小学生や、保育園児と毎日交流している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			菊池圏域は、地域にて地区会議を行い代表が毎回協議会に参加。その都度、会議内容の報告あり。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所にお迎えとしているので、毎回保護者と活動内容などの話をしている。連絡帳にも内容を記載している。	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じて、個室で話しをしている。 保護者も育児疲れにならない様に、 気遣っている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学時に簡単な説明、契約時に詳しく説明をしている
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者が不安な時は、夜中の連絡時にも返事をするようにして、保護者も心身が安定するよう心掛けている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会の活動は各小学校で開催されているので、事業所開催のレクなどを実施し連携を支援している（今年度は、夏休み中に計画をしたが、新型コロナウイルス感染者が発生した為中止）
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			些細な怪我などでも、すぐ対応している。事業所だけでなく、保育園本体の職員にも周知している
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			お便り以外に、外部から送られてくる会報や研修・情報も掲示又はライン送信している
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			分かりにくい保護者には、実物で説明したり、写真なども活用して伝えている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		保育園の地域参加の行事・小学校の行事等にも参加しているが、今年度は中止とする。
	非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			保育園の避難訓練に合同参加している
④0		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			センター、県の虐待防止の研修に参加。厚労省の動画研修もしている。
④1		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束については、契約時またはその都度保護者に話をする。（現在、身体拘束を行うような子は利用していない）
④2		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保育園給食室で対応している
④3		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17			県の基準値に添ってスペースを確保しております
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17			県の基準値に添って配置しております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17			施設内はバリアフリーになっており、車椅子トイレも完備しております。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	17			相談支援員さんの個別支援計画に基づき個別支援計画を作成。保護者様に半年に1度ニーズを伺って計画しております。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17			一人一人の特性に応じた療育を行い、意欲や自信に繋がる様努めています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	2		保育園の学童クラブだけでなく、保育園の園児とも、毎日交流をしております
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17			ご見学・ご契約時に出来るだけ分かりやすく取り組んでまいります。ワークについては、連絡帳に詳しく書いております
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	16	1		今日の出来事、褒めてあげる事、出来た事出来なかった事、気になる事を口頭や連絡帳にてお伝えしています
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		当事業所内において、専門の相談委員との育児相談や言語療育を月1回行っております。予約制です。ラインでの相談も受けております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	未記入3名	今年度、開催予定で御案内致しましたが、直前で新型コロナウイルス感染者が出て、開催を中止いたしました。次年度、開催予定です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16		未記入1名	苦情マニュアルを制定しております。それに沿って対応してまいります
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17			送迎時にお伝えしたり、個別に電話連絡や面談を行っております。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3		毎月お便りを配布し、活動内容など発信しております。自己評価は1年に1回行い、結果については公表しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17			支援記録などの個人情報は、鍵付きのキャビネットにて保管しております。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17			マニュアルは策定されており、いつでも見て頂けるようになっています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	未記入1名	年に数回、保育園の避難訓練と一緒にしています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17			お子様一人一人に配慮し通所を楽しんでもらえる様に、全職員で取り組んでまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17			利用者皆様に満足していただけるよう努力してまいります。

(令和4年度 世帯数17世帯 利用者26名)

i: 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。